



NEWS RELEASE

2023.2.9

株式会社CARTA COMMUNICATIONS

## 2022年下期インターネット広告市場動向および、これからの広告指標についての調査レポートを発表

～2022年下期におけるインターネット広告市場は厳しい環境が続く～

株式会社CARTA HOLDINGSのグループ会社である株式会社CARTA COMMUNICATIONS（東京都中央区、代表取締役社長：目黒 拓、以下「CCI」）は、2022年12月、国内のデジタルマーケティング業界の関係者を対象に、2022年下期インターネット広告市場動向および、これからの広告指標についての調査を実施しました。



本調査は、昨今のインターネット広告市場における具体的な変化を2020年7月から半期ごとに調査しているものです。国内のマーケターのアンケート回答結果と当社の運用型ディスプレイ広告出稿分析ツール※1「CCI 360 Programmatic Display Market Analytics」のデータ

をもとに、インターネット広告キャンペーン費用の推移等、該当期間におけるインターネット広告の出稿傾向をホワイトペーパーとしてまとめました。

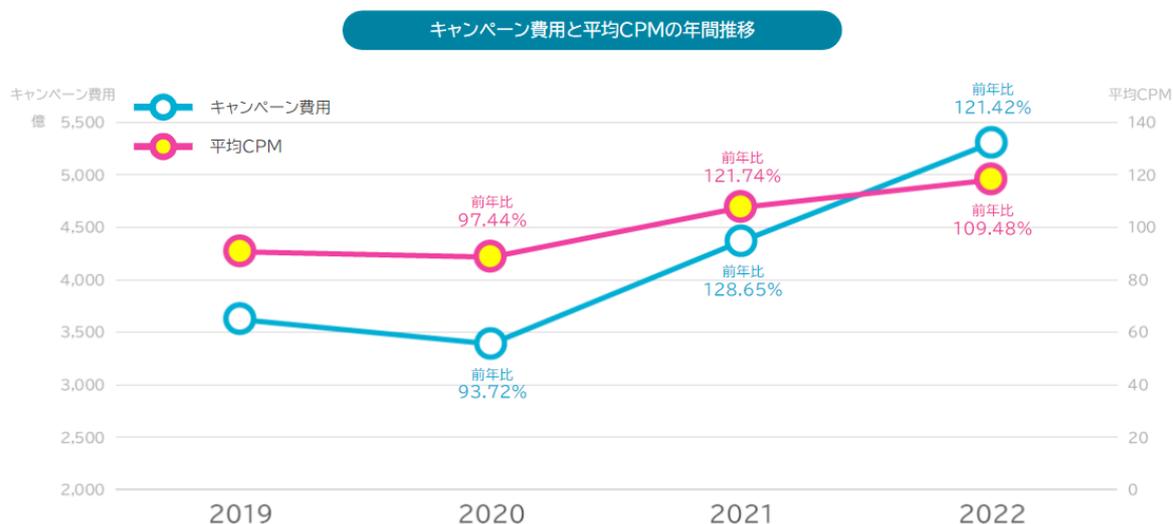
ホワイトペーパーをご希望の方は、以下フォームよりお問い合わせください。

お問い合わせフォームは [こちら](https://www.cci.co.jp/casestudies/cci360_6)：[https://www.cci.co.jp/casestudies/cci360\\_6](https://www.cci.co.jp/casestudies/cci360_6)

## <2022年下期インターネット広告市場動向の主なポイント>

### 運用型ディスプレイ広告のキャンペーン費用と平均CPMの年間推移

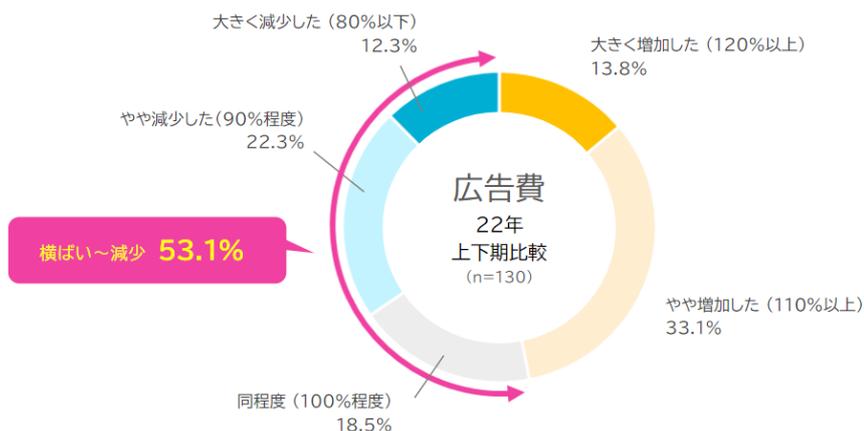
運用型ディスプレイ広告市場は、2019年以降にコロナ禍で市場が一時停滞したものの、徐々に回復し上昇傾向にあることがうかがえる。



### インターネット広告費の増減

2022年下期のインターネット広告費は横ばい～減少したとの回答が半数を超え53.1%となった。

Q. 貴社もしくはご自身が関わるインターネット広告で、2022年上期(1月～6月)と2022年下期(7月～12月)を比較した際の広告費の増減についてお聞きします。



## 2023年上期の業種別出稿動向予測

No.	業種	2022年 下期予想	2023年上期 予想天気図	コメント
1	エネルギー・素材・機械			エネルギー・電力市場では大手企業がキャンペーン費用を牽引しているが、エネルギー自体の高騰は注視すべきポイント。広告出稿にも不透明感はある。
2	ファッション・アクセサリ			2020年頃からキャンペーン費用は増加傾向にあったが、オンライン購入が定着し認知をとる段階ではなくなったため、以前よりも成長率は鈍化。原材料の高騰などによる商品値上げの影響も懸念点。
3	飲料・嗜好品			2022年全体を通してマーケットは停滞気味。業務用は飲食店に客足が戻りつつあるが、値上げの影響により家庭内消費には懸念が残り、先行き不透明な状況が続く。
4	化粧品・トイレットリー			キャンペーン費用は減少傾向。インバウンド需要での劇的な回復は現状あまり見込めないことが要因の一つとして考えられる。広告出稿がディスプレイからソーシャルに流れている可能性も。
5	家庭用品			マーケット全体が安定していることから、引き続き好調となる見込み。低価格な家庭用品等への訴求が増加していると推測。

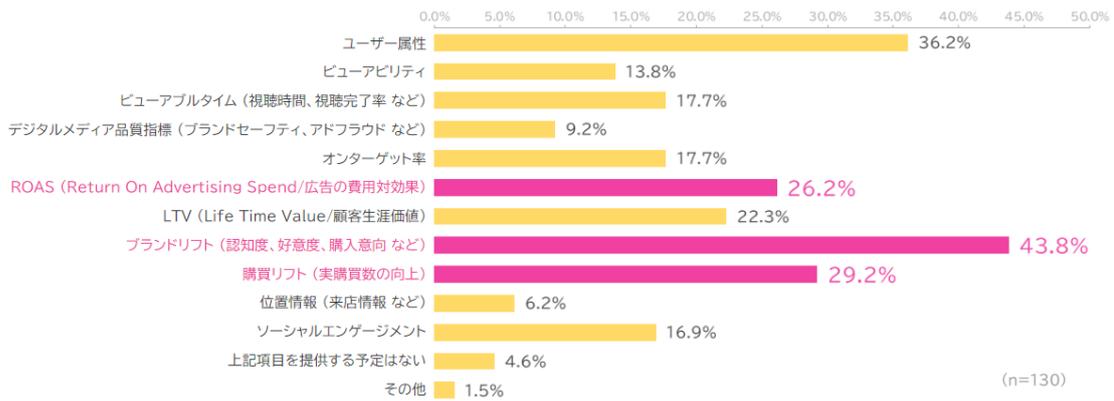
他業種についてはホワイトペーパーに記載

### < これからの広告指標についての主なポイント >

#### 提供したい/求められている指標

ユーザー属性に加え、ブランドリフト・購買リフト・ROASが今後必要な指標として関心を集める結果となった。

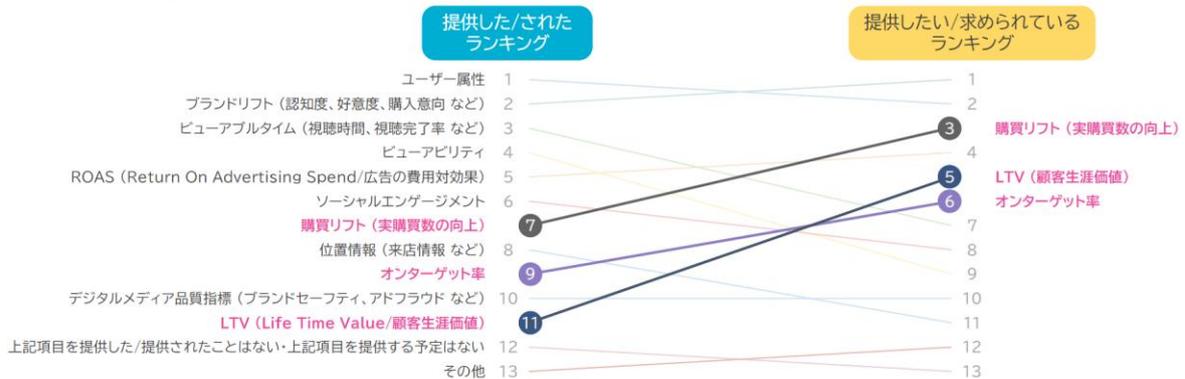
Q. マーケティングやキャンペーンの成果・効果・分析・レポートにおいて、今後貴社もしくはご自身が担当する顧客に提供したい/提供を求められている指標について教えてください。  
※最大三つまで選択ください。



ランキング上昇率では、前回の調査と同様に、購買リフト・LTV・オンターゲット率が上位となり、広告効果の可視化と適切なターゲットへのアプローチ結果が引き続き求められている。

Q. マーケティングやキャンペーンの成果・効果・分析・レポートにおいて、これまでに提供した/提供されたことがある指標を教えてください。  
※当てはまるものをすべて選択ください。

Q. マーケティングやキャンペーンの成果・効果・分析・レポートにおいて、今後貴社もしくはご自身が担当する顧客に提供したい/提供を求められている指標について教えてください。  
※最大三つまで選択ください。



### < 調査概要 >

タイトル： 第六回インターネット広告市場に関するアンケート

調査手法： メール配布によるアンケート調査

調査時期： 2022年12月5日（月）～12月18日（日）

対象者： 広告主、広告会社、媒体社、メディア、プラットフォーマー、テクノロジー・ソリューションベンダー、メディアレップなどインターネット広告市場に関係のある方

回答数： 130

\*1<ツール概要>

ツール名：CCI 360 Programmatic Display Market Analytics

ツール概要：CCI360は、CCIのサプライパートナーからのデータを基に集計を行い、日本のディスプレイに限定した運用型広告の市場規模と、運用型広告（ディスプレイ）にキャンペーン予算を多く投下している広告主のキャンペーン費用の規模や推移を調査するツール。

会社名	株式会社CARTA COMMUNICATIONS
本社所在地	東京都中央区築地1-13-1 築地松竹ビル
代表者	代表取締役社長 目黒 拓
主要株主	株式会社CARTA HOLDINGS（株式会社電通グループ連結子会社）100%
事業内容	マーケティングソリューション事業

**本件に関する  
お問合せ先**

株式会社CARTA COMMUNICATIONS  
経営戦略室  
E-mail: cci360\_info@cartahd.com

**報道関係者  
お問合せ先**

株式会社CARTA HOLDINGS 広報担当  
<https://cartaholdings.co.jp/contact-pr/>